

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	青少年の育成			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	生涯学習課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	B-4-3	シート作成者名	有松 正一

① 施策の現状と課題	<p>青少年期は、人間形成における最も重要な時期であり、社会の一員としての生活の基礎を確立し、社会に貢献するとともに、能力や適性などに応じて活躍の場を広げていく時期です。</p> <p>しかし近年、核家族化・少子高齢化の進行、物質的な豊かさなど、青少年を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、青少年の非行や青少年の関わる犯罪などの様々な問題が深刻さを増してきています。</p> <p>このため、有害な環境の浄化など青少年の健全育成のための環境づくりを進めるとともに、体験学習の機会の拡充など青少年の社会参加促進に向けた取り組みが欠かせません。</p> <p>現在、本市では、地域・学校・警察などで構成する「行橋市青少年育成市民会議」を中心に、年間を通じて行橋駅周辺での声かけ活動やゲームセンターでの夜間パトロールなどを行っています。また、学校外活動の推進として校区公民館での子ども講座や地域アンビシャス広場を開催しています。</p> <p>今後は、地域、学校、家庭はもとより警察などの関係機関・団体と連携を強化して、社会全体で青少年の健全育成及び非行・犯罪の防止に努めるとともに、青少年の問題行動への適切な指導に加え、立ち直りを推進する支援活動を行う必要があります。また、青少年が自ら進んで参加し、充実感や達成感を味わえるような自然体験、ボランティア活動などを推進し、社会との関わりから自己の確立が図れるよう、地域社会との交流の場の提供を図る必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>青少年の健全な育成に向けて、関係団体との連携を深めるとともに、地域全体での非行防止や安全確保に努めます。青少年が社会で生きる力と創造力を身につけながら健やかに成長し、地域と共生しながら自己の確立が図れる環境づくりを推進します。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1) 健全育成活動の推進</b></p> <p>青少年の非行や問題行動を未然に防ぐため、家庭・学校・地域・関係機関などと連携した有害環境の浄化活動や街頭補導活動、立ち直り支援活動を強化するとともに、いじめや不登校など、様々な不安や悩みに適切に対処した相談体制の充実を努めます。</p> <p>また、地域での青少年育成機能の強化のため、「行橋市青少年育成市民会議」や「行橋市子ども会育成連合会」等の各種団体を支援し、次代を担うリーダーの育成を図ります。</p>
	<p><b>主要施策名(2) 健全育成のための環境づくり</b></p> <p>校区公民館において様々なテーマを掲げた子ども講座等を開催し、地域人材を活用した放課後及び休日における児童の安全な交流活動の場の提供と支援を図ります。</p> <p>地域におけるボランティア活動、世代間交流、社会体験など、青少年が主体的に携わることができる活動への参加を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b></p>
	<p><b>主要施策名(4)</b></p>
	<p><b>主要施策名(5)</b></p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績			評価年度	目標値			達成度の説明 (H25年度)
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
目標指標	「青少年の非行・被害防止全国強調月間」推進大会参加人数(人)	357	357	376	381	400		430	組織構成団体へ参加連絡を周知徹底できたため
	行橋市インリーダー研修参加者数(人)	22	49	15	51	55		40	24年度は春季開催時、インフルエンザ・ノロウィルスの流行により参加者が激減した
	校区公民館子ども講座参加延人数(人)	2,053	2,189	2,803	3,002	3,020		2,900	児童に好まれる工作や昔遊びなどの体験型講座を充実させたため。目標値を2500人→2900人へ変更
	「少年の船」参加人数(人)	50	53	34	29	50		60	参加費の引き上げや事業のマンネリ化が影響しているものと思われる。交通手段や旅行日程等の見直しを検討
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H24年度実績値	H25年度実績値	H26年度見込額	
1	行橋少年の船実行委員会補助事業	沖縄での平和学習、船内研修等を通じ、団体生活や規律を学ぶ派遣事業	4,010	4,010	4,010	3
2	研修センター管理事業	指定管理による市施設の運営管理に係る事業	23,090	26,379	25,339	6
3	成人式開催事業	新成人を祝う式典、アトラクションの企画、準備、開催	2,664	2,648	2,660	7
4	地域活動指導員設置事業	地域、家庭の教育力向上のため社会活動や児童の学習活動等の支援員を設置	7,746	7,746	7,746	4
5	子ども会育成連合会補助事業	インリーダー研修や子どもまつり、カルタ大会等のイベント開催や組織づくりを実施	2,985	3,025	3,025	2
6	PTA連合会補助事業	児童生徒の健全な成長とPTA会員の資質向上、行橋市の教育の振興を図る	2,200	1,950	1,950	5
7	青少年育成市民会議補助事業	青少年の自己の確立を目指すよう地域ぐるみで次代を担う青少年の健全な育成を図る	6,830	6,839	6,839	1
8						
9						
10						
11						
12						
13						

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>市長の掲げる「人口10万人構想」は、魅力がいっぱい 人が集まるパワフルゆくはし という第5次総合計画の将来都市像に合致するものであり、生涯学習の分野でも、青少年の育成に力を注ぐことで、未来の担い手である若者に活躍できる場を提供したい。</p> <p>特に子ども会育成連合会や少年の船派遣事業など、小学生から20歳前後の若者が携わる事業を通じて、地域とのつながり、ボランティアの精神などを育み、社会性豊かな人格形成を図りたい。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>青少年期は、自我が芽生えてくる時期に当たるため、他人と自分を比べることはもちろん、本心とは反対の行動をとってみたりと、非常に不安定な精神状態となり、少しのきっかけで道を踏み外したり自分の殻に閉じこもったりする危険性のある時期である。そのような時期の子どもに対し、行政が他人と交流する場を設けたり、学ぶ意欲を引き出す取り組みを実施することは、青少年期の子どもひとりひとりにとって非常に重要な取り組みであると思う。取り組みによっては、効果が減少しているものも見受けられるが、更に工夫を行い、全ての目標を達成できるように取り組んでいただきたい。少年の船派遣事業など若者が中心となって携われる事業は非常に良いことだと思うので、そういった事業を他にも考えてみてはどうだろうか。その他、団塊の世代(60代~70代)のボランティア団体等を活用した有効な取り組みが実現できないだろうか。</p>
--------------------------	--

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>青少年が被害者、あるいは加害者となる凶悪事件が多発、大きな社会問題となっています。私たちが行っている青少年の健全育成を図る施策によって、一人でも多くの若者が、他を思いやる慈しみの精神を身につけてほしいものです。団塊の世代の皆さんから「地域貢献・社会貢献したい」という声をいただいているので、家庭・地域・行政はもちろん、あらゆる「人材」を巻き込んで、少年の船や子ども会、青少年育成市民会議などの事業に協力いただくよう、ボランティア登録・勧誘活動を行ってまいります。</p>
-------------------	--